

○一般社団法人 日本森林学会 2016 年度第 1 回（通算第 456 回）理事会 議事録

日時：2016（平成 28）年 4 月 26 日（火）13:00～17:30

場所：日林協会館 4 階 中会議室

開催者：大河内勇

出席者：会長）大河内勇，副会長）黒田慶子，中村太士，理事）正木隆，田中浩，石田清，福田健二，太田祐子，阿部恭久，佐藤宣子，竹中千里，戸田浩人，石塚和裕，船田良，伊藤哲，小島克己，監事）井出雄二，高橋正通，主事）細田和男，南光一樹，松浦俊也，小長谷啓介，小坂泉，篠原慶規，事務局）稲村崇子，オブザーバー）箕輪富男 [林野庁]，江角淳 [全林試協]

議長：大河内勇

審議事項：

本理事会で議論・決定された事項は以下の通りである。

1. 第 129 回大会の開催機関および大会運営委員長の決定

正木理事から，応用森林学会からの推薦を受けて，第 129 回大会の開催機関を高知大学とすること，また大会運営委員長を後藤純一会員（高知大学）に委嘱することが提案され，いずれも承認された。

2. 第 130 回大会の開催予定地区の決定

正木理事から，第 443 回理事会および 2013 年定時総会で定めたローテーション表にもとづき，第 130 回大会の開催機関の推薦を関東森林学会に依頼することが提案され，承認された。

3. 2016 年定時総会，次回理事会の招集および公開シンポジウムの開催

正木理事から，2016 年定時総会および 2016 年第 2 回理事会を 5 月 31 日，場所を日林協会館として招集すること，また同日同会場にて日本森林学会主催公開シンポジウム「森林・林業の研究―現場をダイバーシティネットワークでつなげる」を開催することが提案され，承認された。

4. 2015 年度事業報告（案）の承認

正木理事から 2015 年度事業報告（案）が提案，承認され，2016 年定時総会での審議に付されることになった。

5. 理事会内規，企画広報委員会内規，ウェブサイト編集委員会内規の改正

次期役員体制への対応のため，正木理事から関連内規の改正が提案されたが，さらに記述を整理し，作業の流れを再構築したうえ，次回以降の理事会で再度審議することになった。

6. 2015 年度決算（案）の承認

田中理事から 2015 年度決算（案）が提案，承認され，2016 年定時総会での審議に付されることになった。

7. 2016 年度予算の修正

2015 年度決算（案）の確定を受け，2015 年度第 5 回メール理事会で承認済の 2016 年度予算の修正が田中理事から提案，承認され，2016 年定時総会に報告されることになった。

8. 日本森林学会会員規則の改正

消費税対応のための会員規則の記述の整理が田中理事から提案，承認され，2016 年定時総会での審議に付されることになった。

9. 収入支出内規の改正

消費税の外税表示化と学術講演集の価格の明文化を骨子とする収入支出内規の改正案が田中理事から示され、提案通り承認された。

10. 表彰規則運用内規の改正

電子投票システムの利用と資格投票の廃止を骨子とする表彰規則運用内規の改正案が佐藤理事から提案され、承認された。

11. 議事録の承認

2015年度第4回（通算455回）理事会・連携学会長合同会議（2015年12月28日）および2015年度第5回メール理事会（2016年2月28日決議）の議事録が承認された。

報告事項：

その他、下記の報告が行われた。

1. 第127回大会の開催報告

中村副会長（中等教育連携推進委員会委員長）から、高校生ポスターとして38件（32校）の発表があり、このうち最優秀賞に2件、優秀賞に2件、学会長特別賞に2件を授与したこと、また今回に引き続き次回についても、国土緑化推進機構に「緑と水の森林ファンド」の助成を申請したことが報告された。正木理事から、学会企画「和文の論文執筆や審査の経験を共有しよう」に87名の参加があったことや参加者アンケートの結果が報告された。黒田副会長から、学会企画「大学院生のための申請書作成指南—学術振興会の特別研究員（DC1～PD）の応募手法」に58名の参加があったことや参加者アンケートの結果が報告された。

2. 第128回大会の準備状況

正木理事から、日林誌98巻3号掲載予定の「大会のお知らせ（第1回）」の内容が説明され、研究発表は第127回に引き続き丸2日間としたこと、受賞者講演を大会の中日に設定することを検討したが、公開シンポジウムや会場との兼ね合いから結果として初日午前になったこと、第127回大会運営委員会と第128回大会運営委員会の引継会議を5月19日に予定していることなどが報告された。

3. 2015年度監事監査の結果について

4月13日に井出監事ならびに高橋監事による監事監査が行われ、2015年度事業報告および財務諸表についての監査が終了したこと、その中で刊行物の保管料やJFRによる科研費申請等についての指摘があったが対応方針を提示し了解を得たことが、正木理事と田中理事から報告された。

4. ウェブサイト編集担当からの報告

南光主事（ウェブサイト編集担当理事代理）から、ウェブサイトの更新、閲覧状況について報告があった。現行のシステムに移行してから5年が経過しており、閲覧状況については一般の会員にも紹介したほうがよいとの意向が示された。

5. 日林誌編集担当からの報告

石田理事から、日林誌の編集状況、3月27日に行われた第542回編集委員会における原稿種別改定の議論、前回理事会で承認された新しいスコープの掲載が報告された。また日林誌が電子ジャ

一ナルであるという必須条件を満たしていることを確認後、1月に Web of Science 掲載 (IF 取得) の申請を行い、現在審査中であることが報告された。また、4月1日から2年間の編集委員21名が選任されたことが報告され、会長から委嘱することになった。

6. JFR 編集担当からの報告

福田理事から、JFR の21巻1号および2号の刊行、新しい出版契約書の appendix に参照用として和文覚書を付与すること、日本生態学会から Ecological Research との合同特集号の提案があり、今夏に Springer から電子版として発行予定であること、不正投稿3件の申し立てがあったことが報告された。また、科研費「研究成果公開促進費（国際情報発信強化B）」は不採択であったことが報告され、かつてのように定期刊行物に対する継続的な助成金ではなく競争的資金であることを認識し、JFR というよりは学会全体としての国際化の取り組みとして申請する必要がある、臨時委員会で対応するのがよい、等の議論があった。4月1日付けで新たに大田真彦会員（九州工業大学）、松本武会員（東京農工大学）、福澤加里部会員（北海道大学）、小林真会員（北海道大学）、Stephen Demarais 教授（Mississippi State University）が編集委員に就任したことが報告された。

7. 木材学会連携担当からの報告

船田理事から、第67回日本木材学会大会は2017年3月17～19日、九州大学箱崎キャンパスで開催予定であることが紹介された。

8. 森林科学編集担当からの報告

太田理事から、森林科学77～78号の編集刊行状況、CiNii から J-Stage への移行手続き中であることが報告された。また2016年3月をもって加賀谷悦子編集委員（主事）と山田祐亮編集委員が退任し、2016年4月から小長谷啓介会員（森林総合研究所）が編集委員（主事）、田中一生会員（日本森林技術協会）が編集委員に就任したことが報告された。さらに森林科学の完全オープンアクセス化について太田理事から提起があり、これに対し財政への影響、pay-per-view システムの導入、冊子体印刷の要否、会員サービスと社会貢献とのバランスなどの議論があり、引き続き検討していくことになった。

9. 企画・広報担当からの報告

阿部理事から、メールマガジン第68～71号を発行したこと、第128回大会運営委員会の計画に基づき国土緑化推進機構に公開シンポジウムの助成を申請したことが報告された。また第127回大会における学会企画「職業研究会」の概要が報告され、説明側は7社、学部3年生を中心に65名の学生が参加した。これに対し、次回以降の大会でも継続的な開催が望ましいが、大会開催校での既存の合同企業説明会などとの重複や、学部学生と大学院生それぞれに対する考慮が必要、などの議論があった。また、大会運営委員会の負担増にしないため、学会として可能な範囲で協力する必要があることが確認された。

10. 表彰担当からの報告

佐藤理事から、第127回大会の授賞式および受賞者講演会には前回よりも多い約200名の参加があったこと、学会各賞の受賞業績のポスター掲示が好評であったこと、学生ポスター賞は20名に授与したことが報告された。また、日本学術振興会賞に1名を推薦したこと、今後1年間に予定さ

れている主な学術賞が紹介された。

11. 男女共同参画担当からの報告

竹中理事から、昨年11月に行われた「『木づかい』産業における男女共同参画推進による地域活性化—中部地域をモデルケースとしたワークショップ—」の報告書が「木材工業」4月号に掲載されたこと、また「森林技術」7月号にも掲載予定であることが報告された。男女共同参画学協会連絡会の運営委員会が3月31日にお茶の水女子大学で開催され、「国際的にみた日本の研究者における女性割合はなぜ伸びないのか」をテーマとするシンポジウムが10月18日にお茶の水女子大学で開催予定であることが報告された。

12. JABEE担当からの報告

戸田理事から、JAFEE（森林・自然環境技術者教育会）総会・運営委員会で3月22日、28年度事業計画が承認され、JABEE（日本技術者教育認定機構）認定制度の普及や、CPD（生涯教育）事業の充実に取り組む方針であることが紹介された。

13. 林業遺産選定委員会からの報告

伊藤理事（林業遺産選定委員会委員長）から、「森林科学」のシリーズ林業遺産紀行で、76号に「南伊豆に遺る岩樟園クスノキ人工林について」を掲載したこと、また新たな林業遺産として3件の応募があり、うち2件について審査、認定し、理事会の承認を経て定時総会時に公表、プレスリリースを行う予定であることが報告された。残り1件は、追加資料の提出に時間を要するため継続審査とされた。

14. プログラム編成委員会からの報告

小島理事（プログラム編成委員会委員長）から、プログラム編成委員会委員の交代があり、次期理事会の担当が確定した後に委員名簿が確定する見込みであること、またプログラム編成委員会としての第127回大会の総括が報告された。総括の中で特に、授賞式・受賞者講演会・公開シンポジウムを会期中日に配置すること、また公募セッションのうち「観光とレクリエーション」「教育」「菌根菌」を部門化することについては、いずれも第129回大会に向けて検討を進めることになった。

議事録作成者：正木隆，細田和男